

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	下水道の防災・減災対策重点計画（防災・安全）															
計画の期間	平成30年度～平成30年度（1年間）										重点配分対象の該当		○			
交付対象	袋井市															
計画の目標	計画的に防災対策・減災対策等を実施し、安全・安心なまちを実現する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		4	A	4	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初		H30末
1	主要な防災拠点のマンホールトイレ整備率を0%（H29）から100%（H30）に向上させる。 安全安心避難所確保率＝マンホールトイレ設置数／対象防災拠点数	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ整備事 業	マンホールトイレ：下部施設 5基	袋井市	■					4		-	
		総合地震																		
												小計						4		
											合計						4			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その効果を踏まえて下水道部局により評価した。	令和5年7月
	公表の方法
	袋井市ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	安全・安心なまちを実現するため、主要な防災拠点である浅羽支所にマンホールトイレ5基を設置し、災害に備えることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	安全安心避難所確保率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	